



第18号

平成17年12月1日

発行
 千歳市町内会連合会
 千歳市東雲町1丁目11番地
 千歳市社会福祉協議会内
 TEL.0123-27-2525

印刷
 (株)フロンティアエージェンシー
 千歳市国裏3丁目32-7 TEL.0123-26-5191

市町連(千歳市町内会連合会)創立40周年を迎えて

これからの町内会の役割

市町連副会長 宮本正志

昭和41年2月、16単位町内会(自治会)によつて町内会連絡協議会の組織が発足し、本年40周年を迎えました。現在141町内会と6連合会が加盟し、組織も肥大化していることから、この節目を機に、名称を千歳市町内会連合会(以下：市町連)と改名しました。その背景には、今までの組織ではこれからの時代の流れに対応することが困難であり、時代が組織のあり方を変えていくのは事実であります。日本の歴史をみますと、地域ごとに集団を形成して、個人はその地域の集団に属するという考え方が長く続き、それが現在の町内会という形として残っていると考えられます。しかし、90年代に入り、都市部を中心に集団に入ることを拒み、個人として生活することを好む人が増えて参りました。このような流れの中で近年地域のつながりが大切であるという逆の流れも起こっております。たとえば、防災・防犯・核家族の問題等、いままで高齢者のお世話は家族がおこなつてきました。しかし、今後少子高齢化社会になると、家族だけではとても支えきれなくなり、周りにすむ地域の人々が支え合つていかななくてはなりません。また、最近では近所同士のトラブルも頻繁に起こつてきております。当事者同士で解決できないことを、その地域(町内会など)で解決

していかねばなりません。このように、町内会活動の必要性がますます望まれてくることと思えます。市町連としましては、

新たな地域社会作りとして、どのように地域の個につながりを持たせ地域社会を形成し、また、その地域社会同士がつながりを形成していくかを考え、同時に市町連の活動がすべて補助金・助成金に頼らず、自主財源を確保し、より充実した活動を推進することが何よりと考えます。

千歳市町内会連合会

「まちづくり」のあゆみ

(参照：第7代会長原美文氏の回顧録、町連協のあゆみより)

「千歳市町内会連絡協議会」(町連協)は昭和41年2月28日有志16ヶ町内会(自治会)会長の発意により発足しました。

草創期の町連協の活動は、生活環境の改善向上を図るべく、加盟町内会の意見を集約して市理事者と懇談(要望)を重ねました。要望事項としては、防犯灯の設置増設・電気料金の助成、集会所・遊園地の設置、下水道負担金、町内会への助成等多岐に亘る事項であります。特に力を入れたのは、衛生環境の改善策として「下水道の普及」等の住民生活に直結する運動に全力を集中する活動でありました。

昭和40年代は、生活環境の改善と町内会活動の拠点となる「町内会館」の建設促進、町

内会活動費の捻出など、いわば町内会活動の基礎、基本事項の構築に力点を置いた活動が中心となつたようです。

昭和50年、60年代においては、行政との連携強化を図る中で生活環境の改善強化に努めると共に各専門部会活動が自ら研修に励み、高めるために積極的に「研修視察」を実施したり、「研修会」を開催、他市「町内会」との交流会等実施していたことが歩みの中に記されております。これは、時代の変遷や社会の価値観の多様化に対応した町連協組織、運営が求められる中で、「町内会活動の理念や質的な高まり」が必要としたからでありましょう。

平成年代には、「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり」や「明るく楽しい ふれあいのある町内会」を目標に掲げ、行政、他機関、市町連との協働体制を確立する中で市民に安心・安全な生活を保障したい。このような目標を達成するため「市町連」としては、各専門部会に各年度重点目標を設定させ、より具体的で、より実践的な活動の推進を図るよう求めました。又、時代に即応した体制を確立するため「町内会活動の実態調査」を実施し、運営上の悩みや課題を集約し町内会活動の活性化や今後の活動に向けた解決方法を模索していこうという試みも実践されました。「明るく、楽しい、ふれあいのある町内会」づくりが平成年代のこれまでの動きといえましょう。

地域自主防災組織作り

総会で本年度の事業計画をご承認戴き、これに基づいて、事業計画達成の為鋭意活動をしています。

5月27日市防災課と打ち合わせに始まり6月17日町内会安全部長会議で110名超の参加で自主防災組織作り、10月22日の札幌防災センターの研修等、十数回の打ち合わせ

会議及び、研修を行いました。殆ど主要事業である自主防災組織関連で有り

皆様の町内会では自主防災組織が有りますか？

千歳には石狩低地断層帯が有り、今から30年の間に、確率最大6%で発災のおそれがあります。シミュレーション

に依りますと、『M7.8』、『震度6強』の場合千歳市被害家屋全壊5100戸、死亡者300名強、負傷者11000名と予想されています。

どのようにして自分を守りますか？
這わないと移動することが出来ません、殆どの家具は移動、転倒する、自分の意志では行動出来ないのです。
市は防災対策本部を設置致します、



自衛隊等

の防災対策

機関と連携し、

迅速な対応が出来る

ような訓練を行っています

すが、防災関係者そのものも被災者であります。直ぐには救援活動は出来ませんが、早くても数日はかかる

と言われています。被災後、被害者を見つけたし、最も早く助ける事の出来るのは、町内の住民なのです。(阪

神、淡路大震災では救出者の70%は地元の住民の協力で救われました)

自分の生命は、自分で守る。それから地域を守る。その為に自主防災組織がどうしても必要となります。千

歳市の防災組織率は非常に低く、早急に地域で防災組織作りに着手致さなければなりません。万が一被災

の場合、少しでも人的被害を軽微に致すことが我々町内会の務めでも有ります。難しく考えずに、取り敢

えず、隣近所で、仲良く、千歳市民の意識の高さを信じて立ち上げましょ

う。最大のメリットは防災意識と地域の連帯感の高揚にあります。

千歳市総合防災訓練に参加してみても、ほんとうに急がねば！明日くるかもしれない大震災に対処するために皆様と共にこの組織作りにお手伝い致したく、行政も協力支援を約束致しております。

各部署の活動の様子紹介

「福祉講演会」について

福祉部会は、先進他市町連合会との福祉懇談会、福祉施設視察研修等を実施して来

ましたが、設備の整った立派な施設を視察し、福祉行政先進地の現状を見聞きしても、国、都道府県、市町村行政レベルのも

のもあつて、視察研修の成果を地域町内活動に反映させることは非常

に困難であり、ただ、見てきた

聞いてきただけで終わることが多い。このため身近な所

から問題を取り上げ、一人でも多くの方々と共に学習す

る機会を作り、地域の福祉活動に役立てたいものと、平成16年度は、福祉部会として初めての「福祉講演会」を開催しました。

テーマ1の「介護保険とデイサービスの現状」は通所介護事業の所長さんによる通所者の日常生活など介護全般について。

テーマ2は「千歳市の子育て支援」は市保育課担当課長により、千歳市の女性就労率、保育所入所状況について説明を受けました。

今年度の福祉講演会は10月15日福祉総合センターにおいて開催しましたところ、140余名の参加を戴きました。

講演内容は、改正介護保険法が10月1日から一部施行となりましたが、6月の法成立から施行日までの準備期間が短期間で、利用者への周知徹底がなされていないのが現状のため、今回は「改正介護保険制度」をテーマとして取り上げました。

テーマ1の「介護保険制度の法改正について」は、市の高齢者支援課担当課長により、介護保険施設(特養ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、ショートステイ、通所介護、通所リハビリテーション)の施設利用者は居住費(滞在費)と食費が原則自己負担となるなど、改正点を重点的に、また、平成18年4月施行予定の介護予防法に関連する市の今後における高齢者福祉施設関係についても説明を受けました。

テーマ2の「介護事業者の実践からみた介護保険制度の改正について」は、居宅介護支援事業所の介護専門員により、介護保険の利用限度額、居住費、食料費(食料費+調理費)の個人負担額の単価設定、通所生活介護利用時間、また、個人負担増に伴うサービスを提供する側、受ける側の心構え等、関係者でなければ理解出来ない部分も詳細に説明されました。

今年度の福祉講演会は10月15日福祉総合センターにおいて開催しましたところ、140余名の参加を戴きました。

講演内容は、改正介護保険法が10月1日から一部施行となりましたが、6月の法成立から施行日までの準備期間が短期間で、利用者への周知徹底がなされていないのが現状のため、今回は「改正介護保険制度」をテーマとして取り上げました。

テーマ1の「介護保険制度の法改正について」は、市の高齢者支援課担当課長により、介護保険施設(特養ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、ショートステイ、通所介護、通所リハビリテーション)の施設利用者は居住費(滞在費)と食費が原則自己負担となるなど、改正点を重点的に、また、平成18年4月施行予定の介護予防法に関連する市の今後における高齢者福祉施設関係についても説明を受けました。

テーマ2の「介護事業者の実践からみた介護保険制度の改正について」は、居宅介護支援事業所の介護専門員により、介護保険の利用限度額、居住費、食料費(食料費+調理費)の個人負担額の単価設定、通所生活介護利用時間、また、個人負担増に伴うサービスを提供する側、受ける側の心構え等、関係者でなければ理解出来ない部分も詳細に説明されました。

今年度の福祉講演会は10月15日福祉総合センターにおいて開催しましたところ、140余名の参加を戴きました。

福祉部会

福祉講演会



今年度の福祉講演会は10月15日福祉総合センターにおいて開催しましたところ、140余名の参加を戴きました。

町内会の様子

『なせば成る』を確信して、
前向きな思考で取り組む

春日町2丁目町内会 会長 山内侃一

近頃は個人住宅や賃貸アパートの建築が増えています。こうした状況の中で、役員任期を1期2年間とし、顧問又は相談役・会長・副会長の3役、総務・生活安全と環境・青少年・女性・福祉の6部門と会計・監査及び17班構成で町内会を組織しています。このほかに特命業務として、今年2名の副会長が夫々中心となつて「自主防災検討委員会」と「再編・福祉委員会」を結成し、前者は来年度の制定に備えて防災体制を鋭意検討しており、後者は住民のニーズに応える方向でその役割の見直しを協議しています。

これは部活動の限界を補完する意味



▶ 町内 餅つき大会

資源「3」の回収作業



で、今後の環境変化や住民福祉に遺漏なきを期すことを狙いとしたものです。更には教宣対策として広報を適時発行し、イベント案内・活動報告・行事連絡・ゴミ投棄の協力依頼・トピックスなど掲載しています。また、「葬儀」への対応は町内会にとり不可欠な活動ですが、従来の個人的な善意に頼る実情を組織的に対処する方向で、その基本手順を作成中です。例年の通り目下、敬老会、親睦交流の新年会などの行事、独居高齢者への贈り物・子供みこし・資源ゴミ回収・町内清掃・花壇作り・安全巡回・除雪支援などの事業を行っています。今年新しい企画行事として幼児から高齢者まで誰でも参加の『餅つき大会』を10月30日に開催し、冬を間近に迎えた晩秋の一日を楽しく過ごし大変好評でした。

新しい町内会の体制の下で
『明るく、安心・安全で、楽しい
町内会』をめざして

ゆうまい町内会 会長 疋田恒夫

ゆうまい町内会は、平成15年の6月に発足し、今年で3年目を迎えました。千歳では、147番目の一番新しい町内会です。6月末日で300戸、会員数が457人でしたが、それからずいぶんと家が建ってきたので11月現在では400戸近くになり、会員数も500人をこえているのではないかと思います。今年から町内会の組織の見直しを基に、広報部を新設し、専門部会5部から6部(総務部・女性部・生活環境部・青少年部・福祉文化部・広報部)として、各部で充実した活動をしていきます。また、各部の役員については、町内の各班(51班)から1名を選出してもらい、6つの部会に所属していただいております。で、昨年までの24名から、一挙に倍増の49名となりました。また、班長も役員になっていただいておりますので、役員全員では100名近くの大所帯となっております。今年の5月末に、立派な町内会館『ゆうまいホール』が完成し、6月からいろいろな会議や催し物等、町内会活動の拠点となっております。今のところ、10名程度の運営委員で、町内会館の管理運営や使用規則等の話し合い、その実施に向けて活動しております。町内会としての一大行事であります盆踊りは、昨年、一昨年と長都駅前町内会と合同で行ってりましたが、今年からは新しく出来た町内会館を中心に、ゆうまい町内会独自で催すことを、6月下

町内会夏祭り 盆踊り大会



旬に決めていました。準備期間が一ヶ月しかなかったのですが、役員全員の協力を得て、2回の会議だけで開催にこぎつけられました。ゆうまい町内会として、初めての盆踊りや花火大会を盛大に催しました。その他、春、秋の町内ゴミ拾い、夏休みラジオ体操、パークゴルフ大会、登下校時や夜間パトロール、料理教室等も行っていきます。これからも、明るく、安心・安全で楽しい町内会活動を進めます。



▲町内会パークゴルフ大会

**「ごみ問題を考える
市民の集い」に参加して**
千歳市民の、最大の関心の一つと

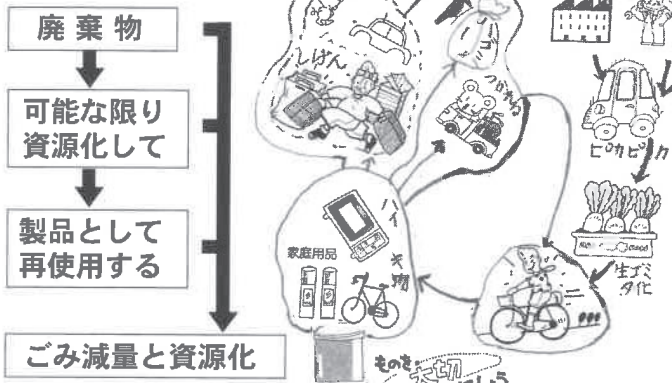
して、「ごみ問題」があります。ごみは、「捨てる物、役立たない物」という感覚から脱皮し、今や市民生活を営む上で官、民一体となって考え対処していかなければならない最重要課題といって過言ではありません。

「ごみ問題」を考える市民の集いの開催趣旨の中では「ごみ問題の現状」を認知し、「循環型社会の形成の必要性」について市民一人ひとりが理解を深め関心を高めると共に、市民(家庭)・地域・行政が連携し協働しながら進める「循環型社会形成」に向けた取り組みについて考える機会として開催した」とあります。この趣旨にそって、この会に参加し、学習した事柄や議論を聞いたことに対しての率直な感想を記述致します。

「循環型社会」とは何か

講師 中村恵子氏の講演内容から

「循環型社会」の説明は多方面でなされているので、ここでは、簡単に触れたい。図で表しますと次のようになります。



そのため、3Rの考えを取り入れる

(1)発生抑制(ごみを少なくする)

廃棄物 (2)再 利用(廃棄物を整備して再利用する)

(3)資源として活用(廃棄物の中で資源として使用出来る物) 豊かな生活を求める社会は大量生産、大量消費、大量廃棄への道を辿った。その代償として、猛毒「ダイオキシン」の発生、土地の汚染、二酸化炭素の増加による地球温暖化と気象異常等の環境破壊が進み、更に地下資源、化石燃料の枯渇など生物の生存その物を脅かす諸現象が表出している。

一方、大量廃棄により「廃棄物処理場」の確保が一層困難となり、処理費用の高額化も招き地方財政を圧迫してきている。

その解決法は容易ではないが、3Rの考えを取り入れ、ごみの減量、再利用、資源化など、いわゆる「循環型社会」の考えを実現していく事が最も大切な解決法であると考えられる。

ごみ問題を考える

千歳市の取り組み

●廃棄物の増大に伴い不燃物廃棄処理場が満杯となり土地の確保が困難●自然環境破壊が進み住民の安全、安心の生活が保障出来ない不安がある●ごみの量が毎年千tずつ増加、反面リサイクル量は変化なし、ごみ処理費用の増加

こうした現状に鑑み、「ごみ問題」の行政としての取り組みについて「審議会」を立ち上げ、基本的な考えや具体的な施策の審議を委ねた。こうして、ごみの有料化を含む「循環型社会の形成」の答申に基づいた具体的取組案をまとめ、市民への説明会の実施へと進んでいる。 ※提案内容は略

市民からの質問・要望・意見(市民説明会及び、市民の集い)

1. 行政は、最初にごみの有料化がありきで進んでいる。財政が逼迫しているのが有料化ではないか。有料化でごみを減らすより別の道があるのではないか。
 2. 4種資源ごみの品目を拡大し町内会資源回収の全品目をごみステーション等に持って行くことは町内会資源回収還元金が目減りし、町内会活動の支障となるのではないか。
 3. 有料化でお金を徴収した分、「循環型社会形成」のために使用できないか。
 4. 不法投棄、不適切排出、ステーション方式に伴う無責任者の発見等々の対策は
 5. 大型店の協力による「トレー」等の店内廃棄、買い物袋の廃止等行政との話し合いは出来ないか
- その他、多数の意見が寄せられた。

循環型社会の形成を願って

今、私たちの生活条件を著しく劣悪にしている諸要因は、多岐に亘ると考えられるが、生活に直結し、改善させ得る課題としては、何と云っても「ごみ問題」である。

「審議会」からの答申された循環型社会の形成は、クリーンな環境保持と安心・安全な生活の保障、更に資源の乏しい日本にとって、基本的な理念と云って良いのではないか。

問題は、どのように具体的に施行し、生活化までもっていかれるかである。まず、私たち市民は「自分たちの問題」として謙虚に行政等の説明に耳を傾け、基本的な考えを理解する必要がある。その上に立って施行上の問題点、改善点更に疑問などを率直に述べ、より良い実施案作成を行政と共に作り上げていく事が大切ではないか。

一方、行政の方は市民と直接対話し、丁寧に説明をしている様に思う。これは、市民の理解と協力なしでは「循環型社会」の形成は不可能であるから当然な事である。

ここで少し苦言を呈したい。「循環型社会の形成」についての説明は、とても丁寧であった様に思う。しかし、実際の実施案の説明の段階では市民からの希望・要望事項になると、切実な願いであっても「なるほど」と頷き改善の余地がありそうだと云ってくれない様に感じた。具体的には、町内会(市民)の最も関心のある「資源ごみの収集方法のあり方」や「なぜ有料化なのか」等である。これでは、一方的な「市民講習会」である。協働の社会形成を願うなら、行政も謙虚に市民の意見に耳を傾け、よりよい「循環型社会」を形成すべきと考えますが、如何でしょうか。

(市町連関係者として市民説明会や市民の集いに参加しての感想を記述致しました)

編集後記

▼十月中旬、人家から相当離れたひなびた湯宿に湯治した。そこは、自然その物である。温泉湯がとてもよいらしい。▼「持ち込み歓迎」とあるので早速持参の飲み物を冷蔵庫に格納した。ふと見ると「当館では、環境保護と地球温暖化防止のため、ゴミ、洗濯水の少量化、簡易包装、省電力の徹底に努めています。」と理解下さい。ヘチムマイナス6%運動の推進」と冷蔵庫の上にあった。

▼このような超自然に囲まれている場所にも、自然破壊防止につながる運動が展開されているのだ。▼今18号の編集に当たっては、とても印象的な事であった。

編集担当

「市町連」総務部会・事務局